

ARC Advisory Group レポート

本コーナーでは米国の大手調査会社、ARC アドバイザリーグループの市場報告書について紹介している。今回は輸送管理システムについてのレポートを取り上げる。

堅調に拡大を続ける倉庫管理システム市場

二〇一一年、WMS（倉庫管理システム）の世界市場は年率一〇%以上の伸びを示した。成熟市場と新興市場、いずれのセグメントにおいても幅広い分野で成長している。成熟市場の伸びは、景気後退期の買い控えからの反動による特需が依然として続いているものと考えられる。ARCの「倉庫管理システムの世界市場動向調査（Warehouse Management Systems Worldwide Outlook）」の著者で、エンタープライズソフトウェア・アナリストであるクリント・ライザーは次のように語る。「今後を予測すると、景気後退期にペンディングになっていた分の需要効果は失せつつあるが、長いスパンで見れば、ユーザーの導入件数増大と技術革新がWMS市場の成長を支えるものと見ている。新興市場開拓、新機能開発、エンドユーザーの業種の拡がりなどが市場を引っ張っていくことを期待している」

WMSの機能拡張モジュール

労務管理システムや倉庫内分析システムといったWMSの拡張機能が、目を見張るようなペースで売上を伸ばしている。現時点でも多くのWMSサプライヤーが多様なアドオン



©2012 ARC Advisory Group

を提供しているし、そうでないサプライヤーも自社のソリューションメニューの幅を拡げるべく新機能を開発中である。こうしたアドオン・ソリューションを提供するサプライヤーの数が増えることで、ベースとなるシステムを導入したそれぞれの顧客にクロスセリング（関連するモノやサービスを追加販売すること）する機会が増加する。逆に顧客からすれば、導入したサプライヤーからアドオンを追加購入するという選択肢が得られるということでもある。ARCでは、機能拡張モジュールの売上は平均以上の成長を遂げると予測している。なぜなら、より多くのサプライヤーがアドオンの追加オプションを用意して製品群の幅を拡げれば、顧客は一層こうしたソリューションを採用するようになると思われるからである。

eコマースの普及が需要を喚起

eコマースの普及と販路の多様化により、WMSのソリューションと機能への要求水準が高まっている。eコマースのフルファイルメントには高度な労働力が必要とされるため、ピッキング、梱包、ラベリング、その他プロセスなどを従来とは変えてゆかねばならない。それへの対応を求められるというわけだ。このeコマースに由来する要求水準向上が、小売業者や製造直販を行っている企業に効率的な配送を提供するという新たな商機を産み出すことにつながっている。